

2008年9月26日

報道関係各位

モリタ 鉄スクラップ処理機械の「リモートメンテナンスシステム」を構築

株式会社モリタ(本社:大阪・東京、代表取締役社長:中島正博、東証・大証1部)は、鉄スクラップ処理機械の保守点検を合理化させる新システム「リモートメンテナンスシステム」を開発。本年10月から販売を開始いたします。

鉄スクラップ処理機械の「リモートメンテナンスシステム」とは、当社がお客様に設置した機械の稼働状況等をインターネット回線を通じてリアルタイムで収集し、異常発生時のダウンタイム(装置の停止時間)の短縮から、安定した機械稼働をお客様へ提供する保守システムです。

このシステムの導入することで、稼働状況の収集・現地状況の把握が可能となり、遠隔地からの迅速な復旧作業などの対応から、異常発生時のコスト削減に貢献いたします。また、収集した情報を互いに共有することで信頼関係を構築し、安定的な生産稼働を実現いたします。

■「リモートメンテナンス」の特徴

- ・ オンラインモニターによる運転情報・状況の共有化(お客様 ⇄ モリタ)
- ・ CCDカメラを用いた映像情報の発信(お客様 ⇒ モリタ)
- ・ 低コストなセキュリティ回線(VPN)を用いたシステム構成

なお、モリタは10月1日をもって各事業部門を会社分割によって分社化、その事業を新設会社へ継承し、当社は持株会社として商号を「株式会社モリタホールディングス」に変更いたします。

今後、現行の(株)モリタは、「株式会社モリタホールディングス」として会社形態を継承。以下、ポンプ事業は「株式会社モリタ」、防災部門は「株式会社モリタ防災テック」、環境事業部門は「株式会社モリタ環境テック」となります。

これからも「人と地球のいのちを守る」をスローガンのもと、たゆまぬ努力と新技術の開発に一丸となって取り組むモリタグループにご期待ください。

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタ 広報室 担当:浦野 TEL:03-5777-5088

E-mail: Hiroko.Urano@morita119.com